

小学5年生が田んぼの生き物調査 秋には有機新米を学校給食に試食



藤島地域の小学5年生を対象とした「田んぼの生き物調査」が各小学校でおこなわれています。田んぼ内に生息するイトミミズやユスリカ、ミジンコ、カエルなど、正方形の枠の中の生き物の数を数えます（コードラート調査）。

様々な生き物のつながりや、環境の違いで生息数が異なることと、有機農業の大切さを学びます。お昼は有機米のおにぎりです。



6月25日 長沼小学校



6月21日 東栄小学校



6月20日 藤島小学校



鶴岡市有機農業推進協議会（志藤正一会長）が昨年までおこなっていた有機米の学校給食提供（1回）が、今年の秋も新米で全市に提供される予定です。市の予算はありますが、同会の昨年のモデルタウン事業の残金を活用します（約26万円）。

サンサン畑の会が 給食交流と地産地消の研修視察

藤島地域の学校給食などに野菜を提供しているサンサン畑の会（佐藤正会長）が21日、藤島小学校で給食交流をおこないました。昨年はずいぶんおなげはるさんが『げんききゅうしよくいただきます』（童心社）を出版した記念におこなわれ、今年度も13人の生産者や関係者が各教室に別れて子どもたちと給食を食べ、楽しく語り合いました。

意味があり、身近な安全な食べもので子どもたちの命と健康を守る「ことが目的だ」と力説しました。

「農土香」

サンサン畑の会は24日、秋田県にかほ市の農家レストラン「食育工房農土香」で研修視察をおこないました。

季節の地産野菜や山菜、手打ちそばを用いた「農土香御膳」をいただき、渡辺広子さんからお話を聞きました。

渡辺広子さんはかつて、仁賀保町農協の生活指導員として「50万円自給運動」を提唱し、農家の自給力の向上が大切だと訴えてきました。

渡辺さんは、「地産地消の本質は単に地場産を消費することではない。旬の食べものには



藤島小学校で給食交流（6月21日）



にかほ市の食育工房「農土香」で渡辺広子さんから研修（24日）

東京都議選 得票・率とも日本共産党が最高の伸び

23日投開票された東京都議選で、日本共産

党は8議席から倍増以上の17人が当選して都議会第3党に躍進しま

した。

各党の総得票数・率をみると、日本共産党はともに衆院比例比で最高の伸びで、政党間の力関係が激変していることがはつきりです。

**人類はどこから来てどこへゆくのか
―特別展「グレートジャーニー!人類の旅
経済成長しないと幸福になれないのか」
―「しんぶん赤旗」を読んで** 青山 崇

少し古くなったが、しんぶん赤旗日曜版6月2日号、特別展を監修した探検家と医師の関野吉晴さんの話である。

関野さんは、約700万年前に誕生した人類が世界中に移動・拡散した跡を、93年から10年かけて自転車・カヌー・犬ぞりなどで踏破。その様子は、フジテレビで長期に渡って放映された。3・11を契機に企画、「この星に生き残るための物語」

とのサブタイトルがついている。「私たちは一から新しい物語を始めはらずでした。ところがこの前の総選挙では、あれほどの大事故だったのに原発が国民的な大争点にならなかった。経済成長しないと幸福になれないのか。見る人に考えてもらいたい」と語る。アベノミクスへの批判でもある。

で初めての展示である。「二足歩行」と「家族形成」の痕跡は、サルとヒトを分けた決定的なもので、そのことを提示している。

つづいて文明社会とは対極のアマゾン・アングス・シベリアなどの狩猟・焼畑など自然の一部となつて暮らす人々の姿を紹介。自然をコントロールできると過信した暮らしと対照させ、人類が生き延びるヒントを示唆している。

藤島庁舎入札結果 ()内は予定価格	
6/24入札分	
・藤島庁舎パッカー・エアコン(大会議室系統)改修工事	東洋空調工業(株) 2,880,000円(3,770,000円)工期~ 8/16
・藤島公民館ホール冷暖房設備改修工事	(株)アクアシステム 6,200,000円(6,327,000円)工期~ 8/6

都議選と2012年衆院比例得票の比較(主な党派別)

	2013年都議選		2012年総選挙比例		得票数の増減	得票数比率
	得票数	得票率	得票数	得票率		
共産党	616,721	13.61	484,365	7.41	132,356	127.33
自民党	1,633,303	36.04	1,626,057	24.87	7,246	100.45
公明党	639,160	14.10	662,743	10.14	23,583	96.44
民主党	690,622	15.24	1,008,011	15.42	317,389	68.51
維新	374,109	8.25	1,298,309	19.86	924,200	28.82

山居倉庫櫻の芽吹き空覆う



画・加藤貞雄

鶴岡市山王神社のケヤキも見事ですが、酒田ではやはり山居倉庫に並ぶ櫻の群です。

新井田川を挟んで倉庫正面の大木も見事ですが、倉庫の裏側に長い距離を一例に並んだ姿は、倉庫の形や色合い等(裏側は黒で塗り込められている)と調和し、息を

呑むような見事さです。この櫻の並木に立った吉永小百合さんの観光ポスターによって、山居倉庫・夢の蔵しは一躍有名になりました。

今年(2013年)の連休は、ここだけ人で溢れ、車を停めるにも一苦労でした。

刻あたかも、櫻は芽吹きをはじめたばかりで、天を覆う枝々の無数の新芽が、見る人を存分に楽しませてくれました。この倉庫が、昔のままで、庄内米の貯場に大きな役割を果しているのは驚きです。TPP参加によって、この倉庫が外米で溢れることがないように...



工藤 博司

少子化対策担当大臣

少子高齢化という文言、いつ誰が使い始めたんだろう。意味からすれば、子どもが少ないこととお年寄りの数が多くなることを、一つの熟語みたいにして使うことは日本語としては正しいのかネー。

1年1つづつしか年はとらないのに高齢化が進むという使い方もする。

▼しかし、少子、少子と言いつつ始めて何年になるんだヤ。子どもをふやす担当大臣もできて何年になんだヤ。こんな名前のついた大臣は日本だけだろうナ。

それでふえないんだから大臣失格だぜ。

▼担当大臣が子どもをふやせないんだつたら、せめて保育園や幼稚園を増やせよ。子どもたちを健全な施設に預けて安心して働きたいんだけども施設がないんじや、子どもがふえることの足を引つ



張つてることになるでしよ。

▼2人元気で働いてもくらしが容易でないんだから、給料が上がりに生まれた子どもを預ける所を選ぶに苦労がなくなれば、3人目だつて欲しいということになり、子どもの数はふえるんじゃないですが。

▼戦後レジームを語る首相はサ、何本の矢とか、株だ憲法だとか変なこと言わずに、働く者の給料を上げて10年後の150万円ではなく、3年計画で保育園をふやすから安心して子どもを産んでくれ、と国民に語ればいい。

▼もう一つは、今考えている法人税の引き下げ分を第3子以降の子に報奨金として支給する。それであなたの会社は社会に貢献しているんだと語ることだ。

▼そして憲法にあるとおり義務教育を無料にすれば、立派な首相だと歴史に名が残るぜ。

(石川)